

ガーナ

2022年3月23日

海外調査部・アクラ事務所

ガーナでは2020年、新自動車政策に基づきフォルクスワーゲン、トヨタ、スズキ、日産の4社が相次いで進出を決定した。一方、新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウン、サプライチェーンの寸断による物価上昇、公的債務の増加などが、2020年のガーナ経済に大きな打撃を与えることとなった。ガーナの輸出は、金、原油、カカオなどの豊富な資源が引き続き底支えするが、付加価値を付けた資源の輸出や産業化が急務となる。

■新型コロナの影響も、2020年は0.4%のプラス成長

ガーナ中央銀行によると、2020年の実質経済成長率は0.4%だった。前年より6.1ポイント低下し、1980年代初頭以来の低成長となった。第1四半期の成長率は前年同期比7.0%だったものの、第2四半期はマイナス5.7%、第3四半期もマイナス3.2%となった。その後、第4四半期はプラス3.3%と回復をみせた。分野別では、農業が7.4%、サービス産業が1.5%、工業がマイナス3.6%となった。成長率低迷の要因として、新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウンによるインフレ率の高騰が挙げられる。2020年の消費者物価上昇率は9.95%で、3月には13.0%まで上昇していた。

また、新型コロナ禍で政府支出が急増したことで財政赤字が拡大した。他方、ユーロ債とIMFからの資金流入などにより、ガーナセディ（GHS）は米ドルに対して堅調さを維持した。

■原油価格が下落も、金とカカオが輸出を支える

2020年の貿易（ガーナ中央銀行報告、通関ベース）は、輸出が144億7,000万ドル（前年比7.6%減）、輸入が124億3,000万ドル（前年比7.3%減）だった。輸出では、世界的な新型コロナウイルス感染拡大による原油価格の下落が影響し、原油輸出額が29億1,000万ドルと前年の44億9,000万ドルから35.2%減の大幅減となった。一方、金が67億9,000万ドル（前年比9.1%増）、カカオが23億3,000万ドル（前年比1.7%増）と主要産業が支えたことで、輸出額全体は小幅な縮小に抑えられた。輸出の国別相手国は、スイス（構成比18.8%、前年2位）、南アフリカ共和国（以下、南ア）、ベトナムの順となった。

輸入では、中古自動車、機械類、電気機器の上位3品目は前年と変わらず、プラスチックおよびプラスチック製品、鉄鋼および鉄鋼製品、塩・硫黄・土石類・プラスター・石灰およびセメントと続いた。相手国は、中国（構成比24.6%、前年1位）、米国、ベルギーの順となった。

■ガーナへの海外直接投資、2020年は製造業が躍進

ガーナ投資促進センター（GIPC）によれば、2020年の外国投資件数は279件、投資額は26億5,098万ドルだった。前年に比べ件数は1.9倍、金額は2.4倍になった。他方、国連貿易開発会議（UNCTAD）

は、2020年の対内直接投資額（ネット、フロー）を19億ドル（前年の39億ドルから52%減）と報告している。

2020年の主な投資国は中国、英国、南ア、オランダだった。なお、2020年末現在の日本からの進出企業数は48社（日本外務省）で、アフリカでは南アやモロッコなどに次ぐ日系企業の進出先となっている。分野別にみると、金額ベースでは製造業が12億7,000万ドルと最大で、次いで、サービス業が6億6,000万ドルだった。件数ベースでは、サービス業が184件で最大で、次いで、製造業、輸出貿易、一般貿易、建築・建設がそれぞれ57件、15件、10件、5件の順となった。報道などで明らかになっている投資案件は、製造業では、豊田通商の自動車組立工場、マトリックス・インダストリーズによる紙・アルミ製品製造、塗料関連製品を製造するガーナとケニアの合弁会社レインボー・ペイントのプロジェクトなどが挙げられる。地域別にみると、首都アクラを含むグレートアクラ州に集中しており、279件のうち231件を占めた。そのほか、ウェスタン州が31件、アシャンティ州7件、ボルタ州およびイースタン州がそれぞれ3件などとなった。

また、新自動車政策に基づき、フォルクスワーゲン（VW）、トヨタ、スズキ、日産の4社が相次いでガーナへの進出を決定している。VWは、2020年8月3日、首都アクラに車両組立工場を開設した。同工場は、正規販売代理店を2005年から務めるユニバーサル・モーターズが運営するかたちとなり、セミノックダウン（SKD）で「Tiguan」「Teramont」「Passat」「Polo」「Amarok」を組み立てる予定となっている。年間生産能力は5,000台となる見込みだ。豊田通商は2020年11月、車両生産拠点をテマ市（首都アクラより30キロ）に設立した。生産能力は年間1,300台、投資額は約700万ドル、従業員数は約50人となっており、トヨタのピックアップトラック「ハイラックス」のSKDでの生産を決めた。また、スズキの「スイフト」のSKD生産は、トヨタとの協業合意に基づきアライアンス強化・拡充の一環として計画される。日産は11月に、正規販売代理店ジャパン・モーターズ・トレーディング・カンパニーと提携し、テマ市でピックアップトラック「ナバラ」を組み立てることを決定した。

■日本からの輸入は中古ダンプカーや中古自動車が牽引

ガーナの対日貿易（通関ベース）は、輸入が9億2,710万9,535GHS（前年比4.6%減）、輸出が4億9,310万2,621 GHS（同68.8%減）となった。

輸入では、主要品目の車両が微増し、輸入額全体はわずかな減少にとどまった。中古ダンプカーが前年比4倍、中古自動車（4WD、排気量1000cc超1500cc以下、5年以内）が3.4倍、中古自動車（排気量1000cc以下、5年以内）が2.4倍だったほか、モーターサイクル（排気量800cc超）、中型車（5トン以下）も前年を上回った。一方、新車の乗用車（ディーゼル、3,000cc超）は減少した。

輸出では、全体の9割以上を占めるココアおよびその調製品が68.9%減となったことから、輸出額は前年から大幅減となった。また、金額で上位を占めるアルミニウムおよびアルミニウム製品、魚などの品目が軒並み減少した。一方、採油用の種および果実等では、ゴマが新たに日本に輸出された。ガーナ北部ではゴマ生産が開始され、中国、インド、トルコなどへの輸出が増えている。

表 ガーナの対日本主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：ガーナセディ、%)

	輸入 (FOB)					輸出 (CIF)			
	2019年		2020年			2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
鉄道用および軌道用以外の車両並びにその部分品及び付属品	665,194,558	684,004,473	97.4	2.8	ココアおよびその調製品	1,545,866,369	480,058,596	97.4	△ 68.9
原子炉、ボイラーおよび機械類並びにこれらの部分品	62,741,123	80,607,777	1.1	28.5	アルミニウムおよびその製品	10,359,172	5,280,216	1.1	△ 49.0
ゴムおよびその製品	101,219,760	60,229,169	0.8	△ 40.5	魚並びに甲殻類、軟体動物およびその他の水棲無脊椎動物	7,029,226	3,980,193	0.8	△ 43.4
魚並びに甲殻類、軟体動物およびその他の水棲無脊椎動物	18,072,435	32,349,643	0.6	79.0	採油用の種および果実、各種の種および果実、工業用又は医薬用の植物並びにわらおよび飼料用植物	8,717	3,118,376	0.6	35675.3
調製羽毛、羽毛製品、造花および人髪製品	27,719,486	24,242,148	0.03	△ 12.5	原子炉、ボイラーおよび機械類並びにこれらの部分品	84	129,685	0.03	154286.6
無機化学品および貴金属、希土類金属、放射性元素又は同位元素の無機又は有機の化合物	11,241	11,995,029	0.01	106606.7	穀粉、加工穀物、麦芽、でん粉、イヌリンおよび小麦グルテン	28,595	73,398	0.01	156.7
鉱石、スラグおよび灰	15,129,965	8,959,311	0.01	△ 40.8	綿および綿織物	52	69,409	0.01	133379.5
電気機器およびその部分品並びに録音機、音声再生機並びにテレビジョンの映像および音声の記録用又は再生用の機器並びにこれらの部分品および付属品	3,666,443	7,223,862	0.01	97.0	食用の野菜、根および塊茎	38,832	62,780	0.01	61.7
プラスチックおよびその製品	1,036,595	2,807,257	0.01	170.8	精油、レジノイド、調製香料および化粧品類	4,962	37,023	0.01	646.2
有機化学品	4,399,736	2,578,985	0.01	△ 41.4	紡織用繊維のその他の製品、セット、中古の衣類、紡織用繊維の中古の物品およびほろ	20,097	34,455	0.01	71.4
合計 (その他含む)	971,963,009	927,109,535	100.0	△ 4.6	合計 (その他含む)	1,579,448,735	493,102,621	100.0	△ 68.8

[出所] 財務省貿易統計

主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：3,079万2,608万人(2021年)			
②面積：23万8,537km ²			
③ 1人当たりGDP：2,230米ドル (2020年)			
④ 実質GDP成長率 (%)	6.3	6.5	0.4
⑤ 消費者物価上昇率 (%)	0.41	7.18	9.95
⑥ 失業率 (%)	4.2	4.1	4.5
⑦ 貿易収支 (100万米ドル)	1,809	2,257	2,043
⑧ 経常収支 (100万米ドル)	△ 2,044	△ 1,864	△ 2,134
⑨ 外貨準備高 (100万米ドル)	5,935	7,135	7,353
⑩ 対外債務残高 (100万米ドル)	39,455	37,795	n.a.
⑪ 為替レート (1米ドルにつき、ガーナセディ、期中平均)	4.59	5.22	5.6

[出所] ①：Ghana 2021 Population and Housing Census、②③：Ghana Statistical Survey、④⑤⑨⑩⑪：IMF、⑥：世界銀行、⑦⑧：ガーナ中央銀行2018/19年報

(お問い合わせ先)

海外調査部 中東アフリカ課

ORH@jetro.go.jp